

インターネット、もっと使いやすく  
**BUFFALO**



Home Network



家電とパソコンをつなぐ  
デジタル家電の周辺機器分野へ



Home Network



Business Report 2004  
メルコグループ

### デジタルホーム市場に向けて、 新たな成長段階へ...

株式会社メルコホールディングス  
代表取締役社長 牧 誠



#### デジタルホーム市場に向けて発進

メルコグループは、これまでパソコンの周辺機器からインターネットの活用機器へと事業領域を拡大しながら成長してきました。「Eyeこれからの社会(3ページ)」で詳しく述べますように、今後、家電のデジタル化やホームネットワークの普及に伴い、デジタル家電の周辺機器市場ともいべき新たな市場が立ち上がってきます。当社グループはこれを新たな成長の機会ととらえ、パソコンとデジタル家電の橋渡し役として様々な製品やソリューションを提供してまいります。

なお、経営環境の激しい変化にも機敏に対応でき

るよう、2003年10月より当社グループは持株会社体制に移行しました。この新体制の下で、蓄積された技術や販路などの強みを活かした関連事業への進出や異業種との提携による新しい事業への進出、あるいは、次世代のビジネスの芽を育てる社内ベンチャーなど、「顧客ニーズへの先見性と、それを具現化する技術力」を武器に、グループの事業領域を拡大し「常に変化し続けるグループ」として企業価値の最大化を目指し前進してまいります。

#### 2004年3月期は売上・利益とも過去最高

当社グループに関連の深いブロードバンド関連市場は高い成長を続け、またパソコン関連の市場でも、国内のパソコン出荷台数が前年比プラスに推移し、市場は明るさを増してきました。中でもテレビチューナ

付のパソコンが多く販売され、テレビ番組の録画やインターネットから入手した映像の視聴など、パソコンは新しいホームエンターテインメントの道具として使われ始めました。

パソコンユーザの動画利用が活発化するのにも  
ない、必要とされる記憶容量が爆発的に増大し、  
DVDライターやハードディスクの市場が拡大しました。

メルコグループの業績においても、代表的な記憶  
装置である外付ハードディスクが、市場シェアを大きく  
伸ばし、No.1の地位をゆるぎないものにするなど、ストレ  
ージ(記憶装置)製品の売上高は前年比21.6%の  
増加となりました。

また、メモリ製品も順調に市場シェアを高めるととも  
にパソコンの携帯用記憶メディアとしてUSBフラッシ  
ュディスクの売上が大きく伸張し、売上高は前年比  
35.8%増となりました。

このように、ユーザニーズの変化を見据えた製品  
の投入やパソコン周辺機器市場での競争力を活かし、  
2004年3月期のメルコグループの業績は売上・利益  
とも過去最高となりました。

## デジタルホーム市場育成に向けて

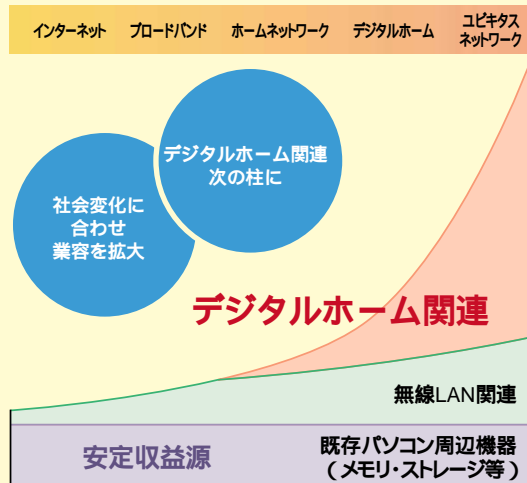
メルコグループは、これまでブロードバンド環境を活  
かす無線LANやネットワーク接続の記憶装置などを  
提案しホームネットワークの市場をリードしてきました。  
パソコンユーザの必要とする記憶容量の増大は、デ  
ジタルホーム市場形成の兆しであると考えられます。  
デジタルホームでは、ホームネットワークに接続された  
全てのパソコンやデジタル家電から自由に動画や音  
楽を楽しむようになります。

デジタルホーム市場のニーズを先取りしたかたちで、  
メルコグループは2004年2月にネットワークメディアブ  
レーヤーを発売しました。これにより、パソコンやネット  
ワーク接続のハードディスクにある動画データを普通  
のテレビで視聴することができるようになりました。今  
後もデジタルホーム市場の育成を目指して、ホームネ  
ットワークでの利用を想定した、動画の入出力や記録、  
テレビ放送の取り込みなど様々な周辺機器を提案し  
てまいります。

また、ホームネットワークの普及に伴いセキュリティ  
の重要性が高まってきます。メルコグループはセキュ

リティ技術の進化に伴い複雑化する無線LANの設  
定を自動化する技術「AOSS」を開発しました。これ  
により、無線LANのユーザ層を飛躍的に拡大すると  
ともにホームネットワークのデファクトスタンダード(事実  
上の標準)を目指します。

### 事業構造のフレームワーク



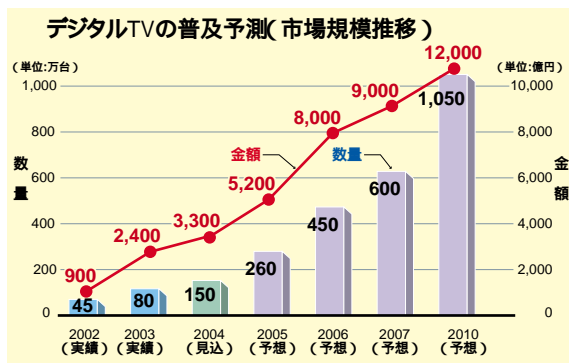
## 進化するホームエンターテインメント

### 地上波デジタル放送の本格的普及

2003年12月に、東京、名古屋、大阪の3大都市圏で地上波デジタル放送が始まりました。2006年までに全国放送が始まり、2011年にはアナログ放送(現在、皆さんが普通に見ているテレビ放送)は廃止されます。多くの人々がアナログ放送の廃止までにデジタルテレビにしたいと思うはずですから、これからの数年間はテレビの買い替えブームが起きると予測されます。

デジタルテレビが普及する頃には、地上波デジタル放送の特徴を活かした番組が増えてきます。例えば視聴者がインターネットを通じて参加するクイズ番組や視聴者の賛否の割合を見ながら進める討論会も面白いかもしれません。その頃には、テレビがインタ

ーネットに接続されているのはごく普通のことになります。



出典：富士キメラ総研

### デジタルテレビとホームネットワーク

わが国のインターネットの回線は年々高速化され、2004年3月にはブロードバンド回線(ADSLやFTTHといった高速な回線)は1500万回線に達しました。この数は全国の世帯数の約3分の1にあたり、その多くは2台以上のパソコンからホームネットワークを通じてインターネットを利用していると考えられます。このように家庭の各部屋を接続するホームネットワークでは、配線の手間の要らない無線LANが主流にな

ると考えられます。

さて、テレビをインターネットに接続しようとするとなんなことが起きるでしょう。今のところ、インターネットはパソコンで使うのが一般的です。現在パソコンは全国の65.7%の家庭に普及していますがその全てがテレビのすぐ近くに置かれているとは限りません。むしろテレビは1階の居間にあって、インターネットの回線は2階の書斎のパソコンに接続されているよう

な例が多いです。

ホームネットワークを通じてパソコンでインターネットを利用しているのなら、今後デジタルテレビは必ずホ

ームネットワークに接続されるでしょう。ホームネットワークに接続できないデジタルテレビが普及するとは考えられません。

## ホームネットワークが楽しみ方を変える

ホームネットワークの魅力はインターネットの接続だけではありません。テレビとパソコンがホームネットワークで繋がると様々な新しい可能性が見えてきます。最近のパソコンはテレビチューナやビデオの編集ソフトが付属していて、テレビ番組の録画や家族のビデオを編集することができます。今後、ホームネットワークを利用すれば、そのパソコンで編集したビデオを居間の大画面のテレビで楽しむことができます。さらに、その動画データをホームネットワーク用の記憶装置に保存すれば家中のパソコンやテレビで利用できるようになります。

これまでは、インターネットはパソコン、放送はテレビ受像機とそれぞれ分かれていましたが、ホームネットワークの将来像では、こうした制限がなくなり、家中のどの部屋でも動画を楽しむことができるようになります。また、どんどん増える録画データも画面上のリストから簡単に選び出して見るできるようになり、ビデオテープを探す手間もなくなります。

このような環境を整えた家がデジタルホームです。デジタルホームはテレビだけでなく他の家電製品をもネットワーク化し家庭生活を大きく変えることとなります。今後その関連市場は大きく成長していきます。

## デジタル家電を活かす周辺機器

このデジタルホームでは、パソコン用のデータをテレビに映し出すためのアダプタや、逆にテレビ放送をパソコンに取り込むためのアダプタが必要になります。これらの技術により、例えば普段は居間で楽しんでいる地上波デジタル放送や衛星放送を、寝室の専用チューナの付いていないテレビでも楽しむことができるようになります。現在一般の家庭にテレビは平均2.4台ありますが、例えばテレビが3台あっても、地上波デジタル放送用に買い替えるのはまず1台でし

よう。しかしデジタルホームなら、残りの2台も活かせます。

ところで、インターネットやホームネットワークを通じて画像を伝送する技術は、今進化の真最中です。

画質を上げるためにはデータ量が増え、伝送スピードを上げるためにはデータ量を抑えたい。そこをバランスよく解決するのが画像圧縮の技術です。この技術は、世界中で研究されどんどん新しい方法が採用されています。また、ホームネットワークの中心的な役割



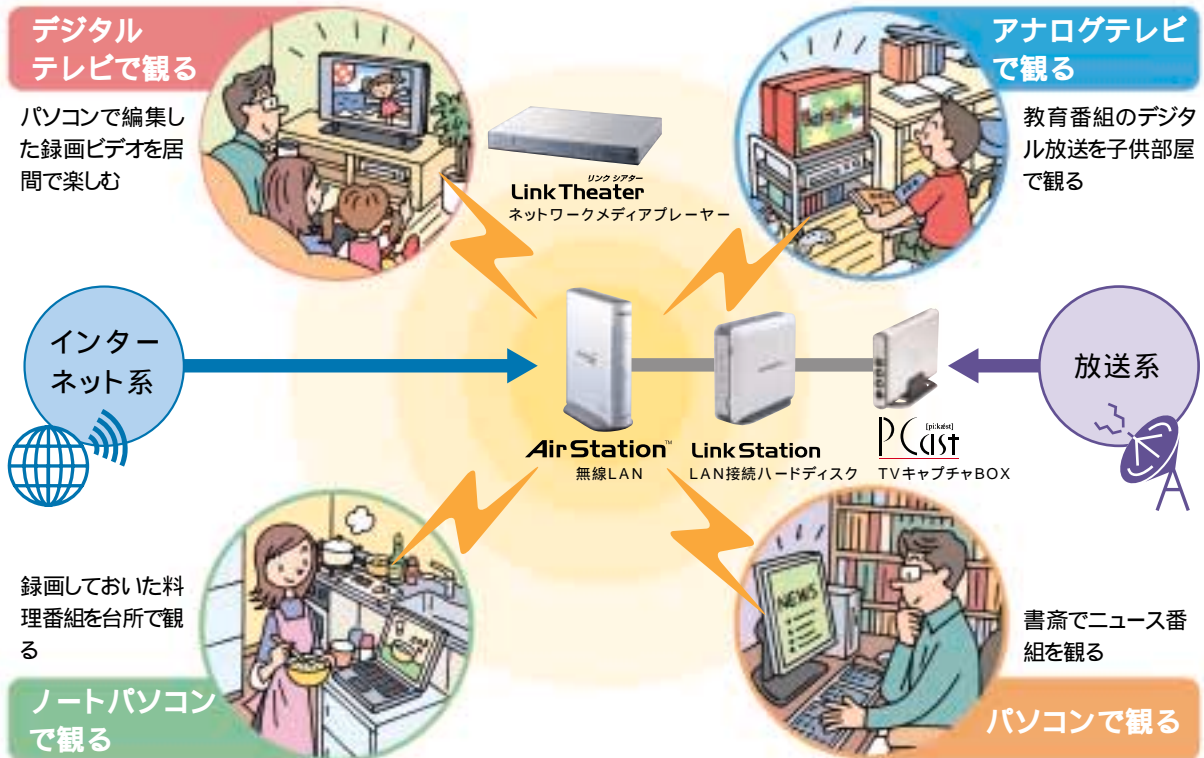
を果たす無線LANもスピードや安全性の向上(セキュリティ機能:データの暗号化など)を目指し年々進化しています。しかし、このように新しい機能が提案されるたびにテレビを買い替えるわけにはいきません。そこで活躍するのが周辺機器です。長い期間使用したい高額なテレビはそのままに、画像データの変換や無線LANの機能は周辺機器で補うという方法です。先にご説明したパソコン用のデータをテレビに映し出すアダプタはその一例です。

パソコンは技術進化のスピードが速いのでこれま

で周辺機器の市場が成長しました。耐久消費財である家電は使用期間が長く、今後も引き続きパソコンと家電の橋渡し役となる周辺機器の市場はさらに大きく成長することが予測されます。

メルコグループは、無線LAN、画像入出力、記憶装置の3つの技術を併せ持つ世界でも珍しい企業グループです。この有利なポジションを活かし、大きく成長しようとするデジタルホーム市場に対し様々な提案をすることで、さらなる成長と企業価値の最大化を目指して前進してまいります。

## 楽しさ・便利さ広がるデジタルホーム



## メルコの原点は「ユーザニーズの具現化」 それを実践していく技術力...

### 世界標準規格を策定

現在、世界中で出荷されているパソコンのほとんどでDDR 型と呼ばれるメモリモジュールが使われています。これらのメモリモジュールの標準規格を策定しているJEDECで、バッファローの基板設計が世界標準規格として採用されています。現在バッファローでは、すでにノートパソコン用メモリモジュールの次の主力製品となるDDR に続いてDDR の標準規格策定を行っています。

メモリのトップブランドとして、今後も世界中のパソコンメーカーから採用される次世代メモリの世界標準規格の普及を目指します。



次世代DDR パソコン用メモリモジュール

### 世界標準機として無線LAN AirStationシリーズ

バッファローの無線LAN AirStation「WLI-CB-G54」は、高速無線LAN標準規格IEEE802.11gにおいて国内で初めて「Wi-Fi®」認定を受けるとともに、認証テスト機器(基準製品)として正式に採用されています。

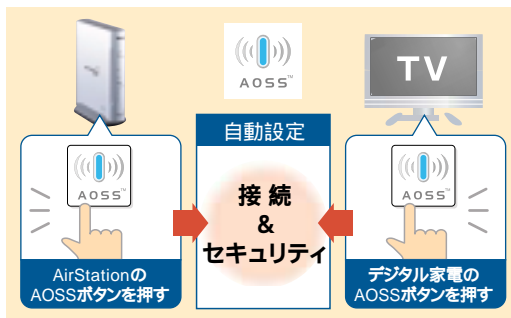


「WLI-CB-G54」「Wi-Fi® CERTIFIED」

### 無線LANの接続・セキュリティ設定を自動化「AOSS™」

簡単設定システムAOSS™(AirStation One-Touch Secure System)は、初心者には難しかった無線LANの「接続設定」や「セキュリティ設定」を、対応した機器のボタンを押すだけで自動的に行える画期的な新技术です。

これにより、無線LANのユーザ層が飛躍的に拡大するとともに、セキュリティ機能の利用促進が図れます。今後デジタル家電など、パソコン以外の機器での利用も期待されます。



DDR / 「Double Data Rate」の略で、従来のSDRAMのデータ転送速度を倍速化する技術を利用したDRAMの品種。メモリモジュール / 実際にパソコンなどでメモリを使用する際には、DRAMを基板上に配しメモリモジュールと呼ぶ部品にする必要があります。DRAMの種類や信号ピンの数や形状によりたくさんの種類があります。

JEDEC / 「Joint Electron Device Engineering Council」の略で電子部品の標準化を推進する世界的業界団体。

Wi-Fi® / 無線LAN規格の標準化団体である「WECA(Wireless Ethernet Compatibility Alliance)」の公式認定を受けている無線LANの相互接続/互換性認定のマーク

### デジタルホーム市場に向けて新体制確立、 ネットワークメディアプレーヤーを発売

バッファローはデジタルホーム市場への新たな展開に向けて、2004年1月にデジタルホームソリューションズ事業部を新設しました。今後成長が見込まれるデジタル家電活用機器分野の製品を強化していきます。

パソコンとテレビの橋渡しをする新製品として、パソコンのデータをテレビで楽しむネットワークメディアプレーヤー「LinkTheater(リンクシアター)」を発売しました。これはパソコンやハードディスク等に保存した映像や画像、音楽データをネットワークを通して大画面のテレビで再生し視聴できるエンターテインメント製品です。



ネットワークメディアプレーヤー

### パソコンサプライ市場に参入



多彩な機能やデザインを揃えるマウス製品

バッファローは2004年7月よりパソコンサプライ市場に参入し、第一弾としてマウス、キーボード、ケーブルを発売しました。製品は特に品質やデザイン・機能性を重視しており、お客様は自分の好みに合った色やデザイン、使い勝手を豊富なラインアップから選ぶことができます。従来製品にはない魅力的なものの作りにより、他社製品との差別化を図ります。パソコン周辺機器のトップブランドとして、さらに幅広いニーズに応える製品開発に注力していきます。

### 女性技術者による女性のための 訪問設定サービスを開始



バッファローサービスアライアンス

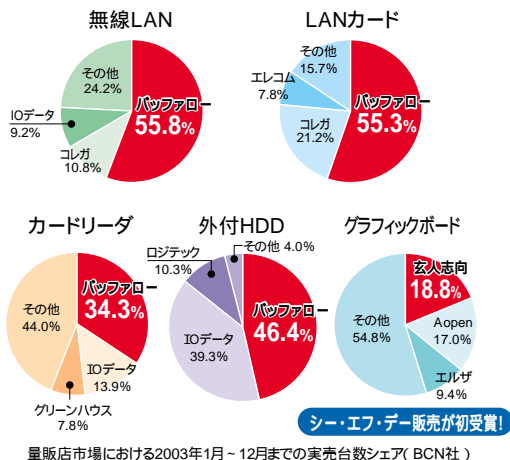
最近では一般家庭にパソコンが普及し初心者のお客様が増えているのに伴い、設置や設定を外部に委託したいというニーズが増えています。このため、バッファローはサービス組織「BUFFALO.S.A.(BSA:バッファローサービスアライアンス)」を全国展開し、技術者が各家庭を訪問してパソコンや周辺機器の設定を行うサービスを提供しています。その中で女性のお客様には女性技術者が担当して欲しいとのニーズに応え、新たに2003年12月に女性向けの専門組織として「BSAレディース設定サービス」を結成しました。業界で初めて女性技術者による女性のための訪問設定サービスを開始し、安心感と信頼性から好評を得ています。



## メルコグループは2003年実売統計で 13部門のトップシェアを獲得

メルコグループはBCN社主催の「BCN Award 2004」において、13部門で最優秀賞を受賞しました。これは全国の有力量販店における2003年の販売台数トップ企業を表彰するもので、実売統計という客観的な指標に基づくIT分野での表彰は国内で唯一のもです。

バッファローは無線LAN、LANカード、ハブ、ルータ、プリントサーバ、外付ハードディスク、内蔵ハードディスク、CD-R/RWDドライブ、拡張インターフェース、メモリ、メモ리카ード、カードリーダーの12部門でトップシェアを獲得しました。また、シー・エフ・デー販売はグラフィックボード部門でNo.1となり、「玄人志向ブランド」として初めて「BCN Award」を受賞しました。



## BUFFALO製品が 海外市場で高い評価を獲得

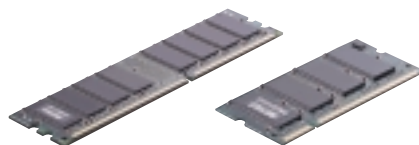
バッファローの無線LAN「AirStation」や各種パソコン周辺機器製品は、日本国内のみならず海外市場においても高い評価を受けています。



表彰・取得	受賞製品
米国LAPTOP Magazine誌 「Editor's Choice」賞	無線LANブロードバンドルータ 「WHR3-G54」
米国テレビ Tech TV 「labpick!」賞	LAN接続ハードディスク「LinkStation」
米国テクニカルサイトCnet.com 「Editor's Choice」賞	無線LAN AirStationのルータと リピータセットモデル「WBR-G54K」 LAN接続ハードディスク「LinkStation」
米国ゲームサイトGame Over Online 「Editor's Choice」賞	無線LAN AirStationメディアコンバータ 「WLI-TX1-G54」
英国PC Pro誌 「PC Pro Recommended」賞、「PC Pro A List」賞	無線LAN AirStationシリーズ
中国PC Professionell誌 「Editor's Choice」賞	無線LANブロードバンドルータ AirStation「WBR-G54」
韓国最大のPC&IT情報webサイト K-Bench主催「K-Bench Best Product」賞	無線LAN AirStationシリーズ

## 地球環境の保護・ 保全に対応する取り組み

バッファローは2001年1月に環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001を取得するとともに、グリーン購入法に基づくパソコン周辺機器を製品化しています。また、2004年6月にはEU圏における法令「RoHS指令」の鉛使用規制に適合する鉛フリーメモリモジュール47製品の発売を開始しました。地球環境への関心の高まりとともに循環型社会へ向けて、環境保護・保全の取り組みが世界的に高まっています。当社は製品の開発・生産・サービスの各活動において環境保全に努めてまいります。



鉛フリーメモリモジュール

## 変化し続ける企業グループ

### 変化の激しい事業領域

メルコグループのコアビジネスは、パソコンやインターネットに関連する変化の激しい分野を事業領域としています。今後は、デジタル家電の活用機器へとさらに事業領域を拡大し成長していきます。

これらの分野は、技術革新のスピードが速く世界中で次々と新しい要素技術が開発されます。それらをいち早く取り入れ、独自の技術やノウハウを駆使してエンドユーザの必要とする製

品を開発していきます。

そこには、最先端の技術に関する研究や世界中の部品メーカとの連携が必要なだけでなく、ユーザニーズに対する先見性が重要です。新技術を単なる新技術に終わらせず、ユーザサイドの変化を見越した提案を製品に盛り込むことによって、新たなユーザニーズを喚起することにつながります。

### 変化への対応力を高める新体制

パソコン、インターネット、デジタル家電とメルコグループのユーザ層はどんどん拡大しユーザニーズも多様化しています。新しいユーザ層にはこれまでとは違った体系の製品群やサポートの方法、あるいは新しい販路など、今までとは違った展開が必要になってきます。そのためには、ブランドの複数化や新しい会

社も必要になってきます。

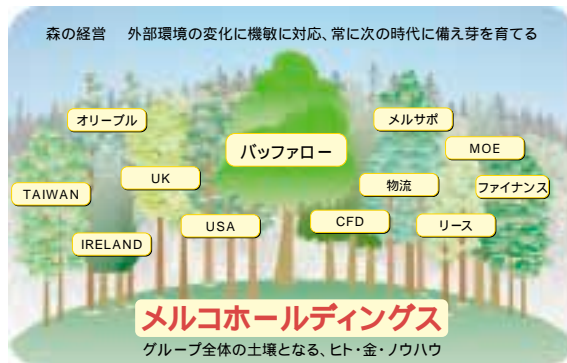
メルコグループは、2003年10月1日、持株会社体制に移行しました。今後、デジタルホーム関連分野を始めとする新事業の開拓や事業の分社化、新会社の設立、異業種との提携など、新たなグループの成長段階に進みたいと考えます。

### 森の経営

この純粋持株会社体制への移行の長期的な狙いは、大きな市場の変化に対し、これまで以上に迅速に対応できる経営体制を構築し、継続的な成長と収益の拡大を通じて企業価値の増大を図るグループ経営を行うことにあります。

これは、今までの単一の急成長型企業から複合的な長期成長企業群としての経営形態への移行を目指したもので、グループの経営をその生命力になぞらえ、森をイメージしたものにしていこうものです。森の木々は一つ一つ独立していますが、その集合体で森を形成しています。例え一本が朽ち果ててもそれを補完する木々が育ち、依然として森を形作っています。このように、それぞれが小さな組織でもータルとしては、大きな力を柔軟に発揮できる。これがメルコグループの目指す「森の経営」であります。

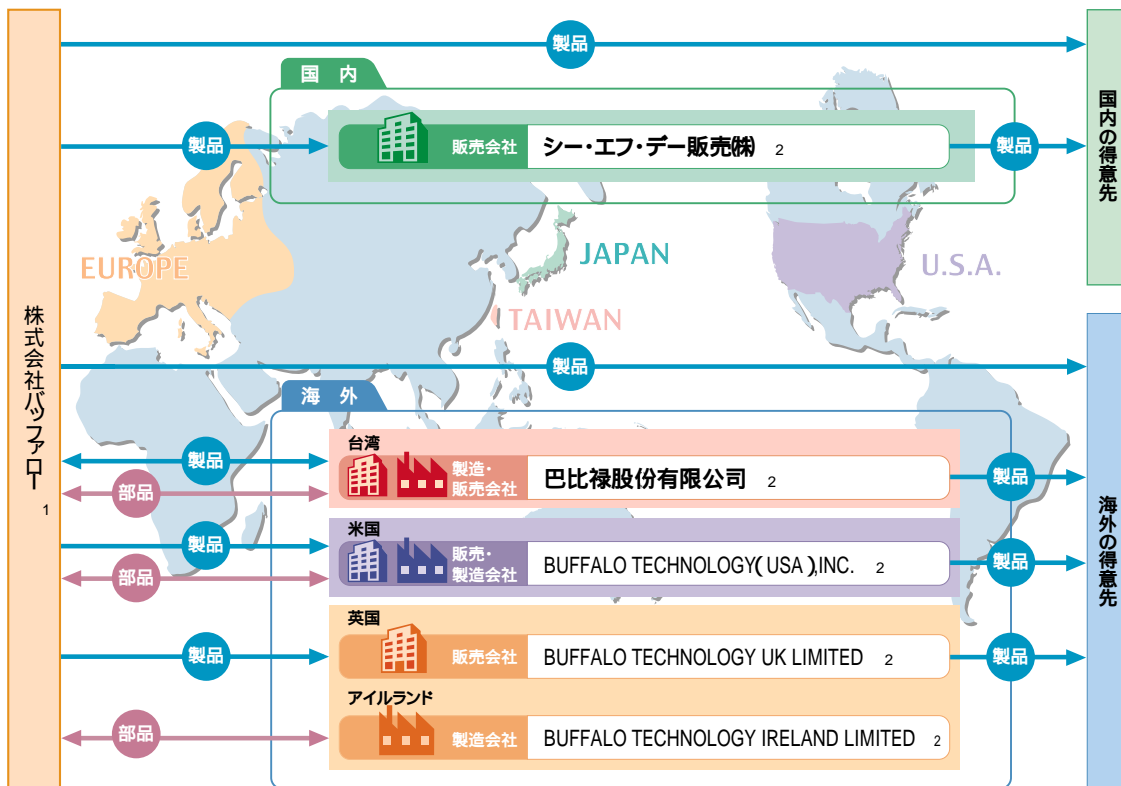
今後、メルコグループは、その存在意義を確かなものに保ち続け、何世紀にもわたり全てのステークホルダ(関係者)の皆様のために、メルコグループの存在価値を高めていくことを目指します。



## メルコグループ系統図

メルコグループは2003年10月1日に、株式会社メルコホールディングスを親会社とする持株会社体制に移行しました。

株式会社メルコホールディングス(持株会社) 1



### その他の事業

物流会社

㈱バッファロー物流 3

ブロードバンド関連機器のレンタル

㈱バッファローリース 3

労働者派遣会社

㈱メルコパーソナルサポート 4

有価証券の運用業務

㈱メルコファイナンス

販売会社

オリープルネット㈱ 3

販売会社

㈱メルコオンラインエンターテインメント

1 ㈱メルコホールディングスと㈱バッファロー(旧社名 ㈱メルコ)は、2003年10月1日に株式交換により㈱バッファローを100%子会社とする持株会社体制に移行しました。

2 2004年3月31日にシー・エフ・デー販売㈱、巴比祿股份有限公司、BUFFALO TECHNOLOGY(USA),INC.、BUFFALO TECHNOLOGY UK LIMITED、BUFFALO TECHNOLOGY IRELAND LIMITEDが、㈱バッファローの子会社から㈱メルコホールディングスの直接出資する子会社に異動しました。

3 2004年6月9日に㈱バッファロー物流、㈱バッファローリース、オリープルネット㈱が、㈱バッファローの子会社から㈱メルコホールディングスの直接出資する子会社に異動しました。

4 2004年6月24日に㈱メルコパーソナルサポートを設立しました。

## デジタルホーム製品

デジタルホーム市場に向けて、パソコンとテレビの橋渡しをする周辺機器を製品化しています。LAN接続ハードディスクは複数のパソコンで画像やデータ、プリンタを共有できる記憶装置です。家庭内では無線LANとつないで、いつでもどの部屋からでもデータを取り出すことができます。テレビ放送をパソコンで読み込むTVキャプチャ、パソコンの映像や音楽データをテレビで視聴できるメディアプレーヤーがあります。製品分類としては、ストレージ製品とその他製品に含まれています。



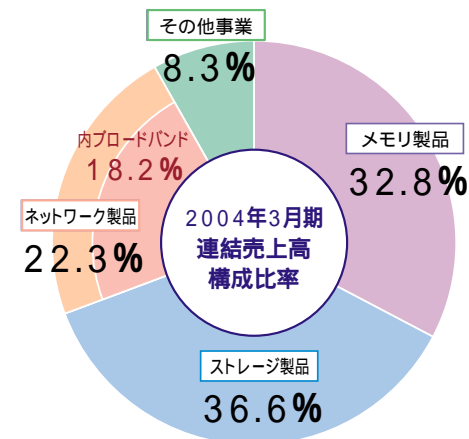
LAN接続ハードディスク



TVキャプチャBOX



ネットワークメディアプレーヤー



## メモリ製品

売上高 | 339億63百万円(2004年3月期連結実績)

メモリはデータを記憶する装置で、パソコン内で書き込みや集計などの作業を行うスペースです。容量が大きいメモリほど作業場所が広くなり、効率良く速く処理することができます。フラッシュメモリは電源がなくてもデータを保存できるメモリです。デジタルカメラのフィルムとして利用されているスマートメディアやコンパクトフラッシュは、フラッシュメモリを利用した記録メディアです。

32.8%

メモリモジュール



USBフラッシュディスク



コンパクトフラッシュ



カードリーダー



## ストレージ製品

売上高 | 379億77百万円(2004年3月期連結実績)

ストレージはデータを保存する記憶装置です。ハードディスクはソフトウェアやデータ、画像などを保存する装置で、パソコンの中に内蔵されているタイプやパソコンの横に置いて使用する外付タイプがあります。DVDドライブは大容量のデータを保存できる記録ディスクで、映画メディアとして一般的になってきました。この他、CD-RWドライブ、MOドライブなど様々な記憶装置があります。

36.6%

DVDドライブ



ハードディスク



ポータブルハードディスク



LAN接続ハードディスク



## ネットワーク製品/ブロードバンド

売上高 | 231億66百万円(2004年3月期連結実績)

複数のパソコンをLANアダプタやハブ、ルータなどのネットワーク製品で接続すると便利な使い方ができます。1台のハードディスクを複数のパソコンで共有して、各パソコンからデータを読み出すことができます。無線LANは煩わしいケーブル配線が必要なく、無線でネットワーク接続します。ノートパソコンを自由に持ち歩いて、家中どこでもインターネットを活用することができるようになります。

22.3%

内ブロードバンド  
18.2%

無線LANアクセスポイント



無線LANカード



ブロードバンドルータ



スイッチ



## その他事業

売上高 | 85億96百万円(2004年3月期連結実績)

その他事業にはマルチメディア関連製品やサービス事業があります。パソコンにTVキャプチャを増設すると、テレビの視聴や録画ができるようになります。パソコンの情報を表示する液晶ディスプレイは薄型省スペース・省電力で主流となっています。サービス事業としてはパフアローサービスアライアンスを組織し、インターネットの設定サービスを行っています。

8.3%



インターネット設定サービス  
(パフアローサービスアライアンス)

TVキャプチャBOX



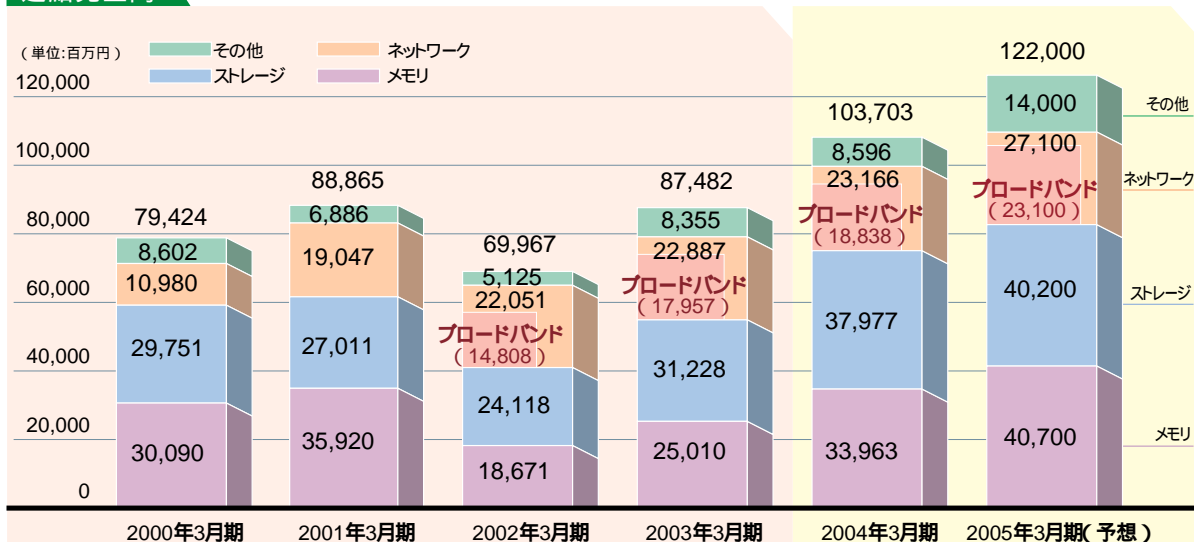
液晶ディスプレイ





### 連結売上高

2003年3月期以前については、比較のため㈱パツファロー(旧社名 ㈱メルコ)の連結数値を記載しています。



注)2002年3月期よりネットワークの内、無線LAN等ブロードバンド関連製品を分けて、ブロードバンドとして算出しています。

### 2004年3月期 連結売上高の概況

#### メモリ

メモリ製品は主力のメモリモジュールがさらに市場シェアを高め売上高を伸張させました。また、パソコンにUSBで接続するフラッシュディスクが大きく成長したことで、連結売上高は前年比35.8%増となる339億63百万円となりました。

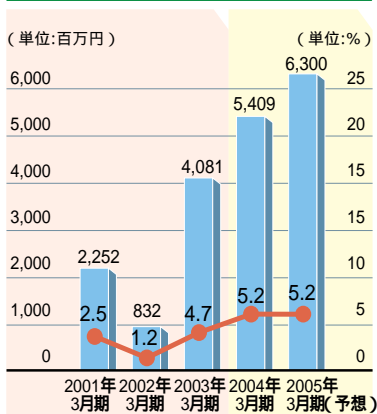
#### ストレージ

ストレージ製品は市場拡大の中で高いシェアを維持したことに加え、ネットワーク接続のハードディスクで新しいユーザーニーズを喚起することに成功しました。これにより、連結売上高は前年比21.6%増の379億77百万円となりました。

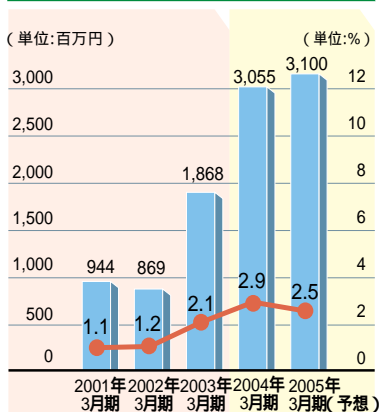
#### ネットワーク/ブロードバンド

ネットワーク製品の内、ブロードバンド製品では回線の高速化にいち早く対応した新製品の投入やセキュリティ機能の強化など常に市場をリードすることができました。しかしながら、連結売上高は前年比4.9%増の188億38百万円と微増に留まりました。

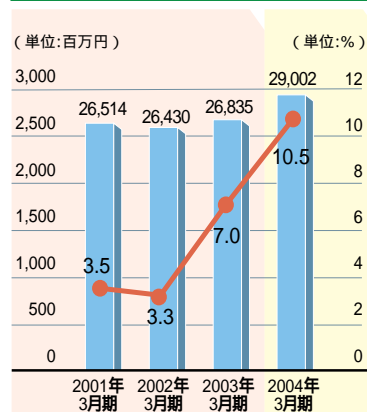
### 連結経常利益と連結売上高経常利益率



### 連結当期純利益と連結売上高当期純利益率



### 連結株主資本と連結株主資本当期純利益率



(株)メルコホールディングスと(株)バッファローは2003年10月1日に株式交換により、(株)バッファローを100%子会社とする持株会社体制に移行しました。2004年3月期の連結業績は(株)バッファローの連結業績(2003年4月1日～2004年3月31日)に、(株)メルコホールディングスの株式交換後から2004年3月期末(2003年10月1日～2004年3月31日)までの単独業績を加え算定しています。2003年3月期は、比較のため株式会社バッファロー(旧社名 (株)メルコ)の連結数値を記載しています。

### 連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	期別	
	当期 2004年3月31日	前期 2003年3月31日
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	37,390	30,744
固定資産	11,753	13,746
有形固定資産	2,015	2,717
無形固定資産	92	106
投資その他の資産	9,645	10,922
資産合計	49,143	44,490
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	19,330	16,875
固定負債	808	780
負債合計	20,139	17,655
(少数株主持分)	1	-
<b>(資本の部)</b>		
資本金	1,000	6,400
資本剰余金	11,677	7,593
利益剰余金	16,849	14,260
其他有価証券評価差額金	236	71
為替換算調整勘定	287	241
自己株式	0	1,249
資本合計	29,002	26,835
負債・資本合計	49,143	44,490

### 連結剰余金計算書 (単位:百万円)

科目	期別	
	当期 自2003年4月1日 至2004年3月31日	前期 自2002年4月1日 至2003年3月31日
資本剰余金期首残高	7,593	7,593
資本剰余金増加高(株式交換)	5,333	-
資本剰余金減少高(自己株式消却額)	1,249	-
資本剰余金期末残高	11,677	7,593
利益剰余金期首残高	14,260	12,741
利益剰余金増加高(当期純利益)	3,055	1,868
利益剰余金減少高(配当金他)	466	348
利益剰余金期末残高	16,849	14,260

### 連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	期別	
	当期 自2003年4月1日 至2004年3月31日	前期 自2002年4月1日 至2003年3月31日
売上高	103,703	87,482
売上原価	89,886	75,857
販売費及び一般管理費	8,589	7,694
営業利益	5,228	3,931
営業外収益	367	243
営業外費用	186	92
経常利益	5,409	4,081
特別利益	-	173
特別損失	1,262	581
税金等調整前当期純利益	4,147	3,673
法人税、住民税及び事業税	1,254	1,375
法人税等調整額	161	429
少数株主損失	1	-
当期純利益	3,055	1,868

### 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	期別	
	当期 自2003年4月1日 至2004年3月31日	前期 自2002年4月1日 至2003年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,586	6,513
投資活動によるキャッシュ・フロー	260	1,043
財務活動によるキャッシュ・フロー	512	1,685
現金及び現金同等物に係る換算差額	53	67
現金及び現金同等物の増減額	3,280	3,715
現金及び現金同等物の期首残高	5,746	2,030
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	8	-
現金及び現金同等物の期末残高	9,035	5,746

### 株式会社メルコホールディングス

#### 会社概要

2004年3月31日現在

商号	株式会社メルコホールディングス	英文社名	MELCO HOLDINGS INC.
設立	1986年(昭和61年)7月1日		
代表者	代表取締役社長 牧 誠	資本金	10億円
売上高	連結 1,037億3百万円 (2004年3月期実績)		
事業内容	メルコグループの純粋持株会社 各種事業を営む会社の株式を所有し、事業活動の支援、経営指導を通じ統括管理する		
従業員数	4名、メルコグループ連結 646名		
グループ企業	会社数 12社(国内8社、海外4社)		
取引銀行	UFJ、名古屋	U R L	<a href="http://melco-hd.jp/">http://melco-hd.jp/</a>

#### 役員

2004年6月29日現在

代表取締役社長	牧 誠
専務取締役	斉木 邦明
常務取締役	牧 博道
取締役	牧 廣美
取締役	津坂 巖
常勤監査役	小林 清史
監査役	西川 俊男
監査役	川島 譲
監査役	隅 朝恒

#### 事業所

本社 〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目11番50号 カミヤビル

TEL. 052-251-6891 FAX. 052-241-7979

### 株式会社バッファロー

#### 会社概要

2004年3月31日現在

商号	株式会社バッファロー	英文社名	BUFFALO INC.
創業	1975年(昭和50年)5月1日		
設立	1978年(昭和53年)8月5日		
代表者	代表取締役会長 牧 誠		
資本金	64億円		
事業内容	パソコン及びブロードバンド 関連機器の開発・製造・販売及び 関連サービスの提供		
従業員数	390名		
取引銀行	UFJ、名古屋、伊予、東京三菱、UFJ信託		
U R L	<a href="http://buffalo.jp/">http://buffalo.jp/</a>		

#### 役員

2004年5月10日現在

代表取締役会長	牧 誠
取締役社長	斉木 邦明
常務取締役	牧 博道
取締役	豊岡 誠史
取締役	西岡 孝行
取締役	山口 英利
常勤監査役	小林 清史
監査役	津坂 巖
監査役	小出 隆志
監査役	隅 朝恒

#### 事業所

本社	〒457-8520	名古屋市中区大須四丁目11番50号 カミヤビル	TEL. 052-251-6891	FAX. 052-241-7979
東京本社	〒103-0027	東京都中央区日本橋一丁目2番5号 栄太楼ビル	TEL. 03-3242-7777	FAX. 03-5203-8551
本社分室	〒460-0011	名古屋市中区大須四丁目11番50号 カミヤビル	TEL. 052-251-6891	FAX. 052-241-7979
名古屋支店	〒460-0011	名古屋市中区大須四丁目11番50号 カミヤビル	TEL. 052-249-6600	FAX. 052-249-6601
大阪支店	〒542-0012	大阪市中央区谷町九丁目1番18号 住友生命谷町ビル	TEL. 06-6191-1511	FAX. 06-6191-1510
仙台営業所	〒983-0852	宮城県仙台市宮城野区榴岡四丁目5番22号 宮城野センタービル	TEL. 022-291-0311	FAX. 022-298-9470
福岡営業所	〒812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東三丁目12番1号 アバンダント95	TEL. 092-477-3711	FAX. 092-477-3755
札幌営業所	〒060-0031	札幌市中央区北一条東一丁目4番1号 サン経成ビル	TEL. 011-200-8150	FAX. 011-200-8151

	会社名	資本金	持株比率	事業内容
日本	シー・エフ・デー販売株式会社	98百万円	100%	インターネット関連機器及びコンピュータ周辺機器の販売
	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通四丁目15番 TEL.052-619-1311 FAX.052-619-7785			
	株式会社バッファロー物流	70百万円	100%	製品の梱包・出荷業務
	〒456-0023 名古屋市熱田区六野二丁目1番3号 中京倉庫内33号棟 TEL.052-883-3035 FAX.052-883-3042			
	株式会社バッファローリース	98百万円	100%	インターネット関連機器のレンタル及びリース
	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通四丁目15番 TEL.052-619-1815 FAX.052-619-7754			
	株式会社メルコファイナンス	20百万円	100%	有価証券の保有、売買、投資並びに運用業務
	〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目11番50号 カミヤビル TEL.052-251-6891 FAX.052-241-7979			
	オリーブネット株式会社	11百万円	88.2%	インターネット関連機器及びコンピュータ周辺機器の販売
	〒456-0023 名古屋市熱田区六野二丁目1番3号 中京倉庫内 TEL.052-882-3302 FAX.052-882-3302			
株式会社メルコオンラインエンターテインメント	10百万円	90%	インターネットゲームスポットの運営	
〒101-0021 東京都千代田区外神田三丁目14番3号 福栄秋葉原ビル TEL.03-3252-4141 FAX.03-3252-4141				
株式会社メルコパーソナルサポート	10百万円	100%	労働者派遣事業	
〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目11番50号 カミヤビル TEL.052-251-6823 FAX.052-241-7979				

	会社名	資本金	持株比率	事業内容
アジア	巴比禄股份有限公司	100百万台湾ドル	100%	インターネット関連機器及びコンピュータ周辺機器の製造、販売
	4F, NO.18, LANE609, SEC.5, CHUNG HSIN RD., SANCHUNG CITY, TAIPEI HSIEN, TAIWAN TEL.886-2-2999-9860 FAX.886-2-2999-2264			
米国	BUFFALO TECHNOLOGY (USA), INC.	3米ドル	100%	インターネット関連機器及びコンピュータ周辺機器の販売、製造
	4030 West Braker Lane, Suite 120, Austin, TEXAS 78759-5319 U.S.A. TEL.1-512-794-8533 FAX.1-512-794-8520			
欧州	BUFFALO TECHNOLOGY UK LIMITED	5,728千米ドル	100%	インターネット関連機器及びコンピュータ周辺機器の販売
	176 Buckingham Avenue, Slough, Berkshire SL1 4RD, United Kingdom TEL.44-1753-555-000 FAX.44-1753-535-420			
	BUFFALO TECHNOLOGY IRELAND LIMITED	790千ユーロ	100%	インターネット関連機器及びコンピュータ周辺機器の製造
East Park, Shannon Free Zone, Shannon, Co.Clare, Ireland TEL.353-61-708090 FAX.353-61-360140				



## ▶メルコグル - プの歩み

沿革		事業/その他	
音響機器製品の製造・販売を目的としてメルコを設立	8月	1978	8月 糸ドライブプレイヤーを発売
		1981	7月 パソコン周辺機器市場へ本格参入
		1982	11月 プリント内蔵型のプリンタバッファを発売
名古屋市天白区に(有)バッファロー(現(株)メルコホールディングス)を設立	7月	1986	
		1988	10月 わが国初のEMSポートを発売
梱包・物流業務を独立し、(株)バッファロー物流を設立	9月	1990	
(株)メルコ(現(株)バッファロー)が日本証券業協会へ店頭登録	10月	1991	
(株)メルコが(株)メルコインターナショナル(現(株)バッファローリース)を設立	10月		
(株)メルコが名古屋市内南区に技術開発拠点として ハイテクセンター(現(株)バッファロー本社)を開設	1月	1992	7月 CPUアクセラレータを発売 8月 LANを発売
台湾連絡事務所を現地法人化し、巴比祿股份有限公司を設立	6月		
		1993	5月 ウィンドウ・アクセラレータを発売 マルチメディア分野へ本格参入
		1994	10月 PCBテクノロジー・アワードで最優秀賞を受賞
		1995	2月 ハードディスクを発売/パソコン周辺機器の総合メーカーへ
(株)メルコが名古屋証券取引所市場第二部に株式を上場	1月		9月 (株)メルコが品質保証の国際規格ISO9001の認証を取得
(株)メルコが東京証券取引所市場第二部に株式を上場	8月		11月 DOS/パソコンポータブルパソコンを発売 パソコンコンポーネントメーカーへ
		1996	10月 液晶ディスプレイを発売
(株)メルコが東京証券取引所、名古屋証券取引所市場第一部に株式を上場	9月		
(株)メルコが近畿システムサービス(株)現シー・エフ・デー販売(株)を子会社化	10月		
(株)メルコが事業部制を導入	10月	1997	
(株)メルコがTechWorks(Delaware),Inc. (現BUFFALO TECHNOLOGY(USA),INC.)を子会社化	1月	1998	
(株)メルコがTechWorks(UK)Limited (現BUFFALO TECHNOLOGY UK LIMITED)を子会社化	12月		
(株)メルコがTechWorks(Ireland)Limited (現BUFFALO TECHNOLOGY IRELAND LIMITED)を子会社化			
(株)メルコファイナンスが有価証券の運用業務を開始	8月	1999	1月 無線LAN市場に参入 「AIRCONNECT」を発売
(有)バッファローが株式会社に組織変更	10月		11月 Rambus対応メモリを発売
		2000	4月 無線LAN「AirStation」を発売 10月 DDR対応ノートパソコン用メモリの世界標準規格を開発
(株)メルコがサービス組織/バッファローサービスアライアンスを結成	1月	2001	1月 インターネットのサービス事業を開始
リユース事業の合併会社デジタルリユース(株)を設立	3月		1月 (株)メルコが環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得
販売会社オリーブネット(株)を設立	5月	2002	7月 インターネット無線スポットサービスを推進する「FREESPOT」を開始 12月 LAN接続ハードディスク「LinkStation」を発売
(株)バッファローリースがブロードバンド関連機器のレンタル事業を開始	3月	2003	3月 ブロードバンド関連機器のレンタル事業開始
(株)バッファローが(株)メルコホールディングスに商号変更、 名古屋市中区に本店を移転	5月		12月 サービス組織「BSALレディース設定サービス」を結成
(株)メルコが(株)バッファローに社名変更、名古屋市内南区に本店を移転	10月		
(株)メルコホールディングスと(株)バッファローが株式交換、持株会社体制に移行	10月		
(株)メルコホールディングスが東京証券取引所、 名古屋証券取引所市場第一部に株式を上場	10月		
(株)メルコオンラインエンターテインメントを設立	10月		
シー・エフ・デー販売(株)、巴比祿股份有限公司、BUFFALO TECHNOLOGY(USA),INC., BUFFALO TECHNOLOGY UK LIMITED, BUFFALO TECHNOLOGY IRELAND LIMITED、 の5社を、(株)バッファローの子会社から(株)メルコホールディングスの直接出資する子会社に異動	3月	2004	1月 デジタルホームソリューションズ事業部を新設 2月 ネットワークメディアプレーヤー「LinkTheater」を発売 5月 無線LAN「AirStation」が累計出荷500万台を達成 7月 パソコンサブライ事業に参入
(株)バッファロー物流、(株)バッファローリース、オリーブネット(株)の3社を、 (株)バッファローの子会社から(株)メルコホールディングスの直接出資する子会社に異動	6月		
労働者派遣会社として(株)メルコパーソナルサポートを設立	6月		

# Investor Information

## 社名の由来

メルコグループは2003年10月1日に(株)メルコホールディングスを純粋持株会社とする持株会社体制に移行しました。同時に(株)メルコは社名とブランドを統一するために、(株)バッファローに社名変更しました。ユーザの皆様にも名付けられ、育てられた「BUFFALO」というブランドを事業会社の社名としました。

## メルコ / MELCO

### メルコは「牧技術研究所」を意味しています。

アルファベットで表す「MELCO」のMは創業者で株式会社メルコホールディングス代表取締役社長 牧 誠(まき まこと)の姓である「Maki」、Eは技術力の「Engineering」、Lは研究所の「Laboratory」、COは会社の「Company」の頭文字をとり、創業の1975年に会社名としています。

## バッファロー / BUFFALO

### バッファローは製品の「プリンタバッファ」に由来しています。

昔のプリンタは印刷中はパソコンが使えず、印刷終了まで待たなければならぬ不便がありました。プリンタバッファは印刷指示をいったんメモリに蓄えてパソコンを即座に開放するため、印刷中でもパソコンを使用できる画期的な製品です。メルコが1982年に発売した内蔵型プリンタバッファは市場のニーズに応え大ヒット製品となり、パソコン業界へ本格的に進出する試金石となりました。そこで新製品を発売するにあたり商品名を一般公募し、採用されたのが「BUFFALO」です。プリンタバッファを動物の「バッファロー」になぞらえ、製品との語呂合わせの面白さとバッファローが力強く駆けるイメージが当社の躍進するイメージにぴったりなため製品ブランドとして採用しました。その後、使いやすさを提案するソリューション企業としてBUFFALOブランドを育ててきました。

## ■■■■ メルコホールディングス株式情報(2004年3月31日現在) ■■■■

決算期日	3月31日	名義書換代理人	UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	6月		東京都千代田区丸の内一丁目4番3号
株主確定基準日	議決権行使株主 3月31日	同事務取扱所	UFJ信託銀行株式会社証券代行部
	期末配当金受領株主 3月31日		東京都江東区東砂七丁目10番11号 〒137-8081
	中間配当金受領株主 9月30日		TEL 03-5683-5111(代表)
上場証券取引所	東京証券取引所第一部、	幹事証券会社	(主)大和証券SMBC
	名古屋証券取引所第一部		(副)野村證券、
証券コード	6676		みずほインベスターズ証券、
発行済株式数	26,125,773株		日興コーディアル証券
株主数	12,686名	インターネットによる情報提供	
1単元の株式数	100株		<a href="http://melco-hd.jp/">http://melco-hd.jp/</a>
公告掲載新聞	日本経済新聞	貸借対照表及び損益計算書	
			<a href="http://melco-hd.jp/koukoku/">http://melco-hd.jp/koukoku/</a>

## メルコグループ <http://melco-hd.jp/>

---

株式会社メルコホールディングスと株式会社バッファロー(旧社名 株式会社メルコ)は、2003年10月1日に株式交換により株式会社バッファローを100%子会社とする持株会社体制に移行しました。また、同時に株式会社メルコは株式会社バッファローに社名変更しております。

---

株式会社 **メルコホールディングス** <http://melco-hd.jp/> (証券コード6676)

本 社 〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目11番50号(カミヤビル) TEL. 052-251-6891代 FAX. 052-241-7979

株式会社 **バッファロー** (旧社名 株式会社メルコ) <http://buffalo.jp/>

本 社 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通四丁目15番 TEL. 052-619-1811代 FAX. 052-619-1800

東 京 本 社 〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目2番5号(栄大樓ビル) TEL. 03-3242-7777代 FAX. 03-5203-8551

本 社 分 室 〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目11番50号(カミヤビル) TEL. 052-251-6891代 FAX. 052-241-7979

---

### 国内の事業会社

シー・エフ・デー販売株式会社

株式会社バッファロー物流

株式会社バッファローリース

株式会社メルコファイナンス

オリーブネット株式会社

株式会社メルコオンラインエンターテインメント

株式会社メルコパーソナルサポート

### 海外の事業会社

巴比祿股份有限公司(台湾)

BUFFALO TECHNOLOGY (USA), INC.(米国)

BUFFALO TECHNOLOGY UK LIMITED(英国)

BUFFALO TECHNOLOGY IRELAND LIMITED(アイルランド)